

第3期宇都宮市中心市街地活性化基本計画（案）に対する意見書

宇都宮市中心市街地活性化協議会

会長 須賀 英之

宇都宮市におかれましては、「第6次宇都宮市総合計画」及び「宇都宮市都心部グランドデザイン」に基づき、賑わいと高次で多様な都市機能を備えた都市拠点の形成に向けた取組を積極的に進めていただいているところであります。

殊に、誰もが暮らしやすく、活力と賑わいあふれる中心市街地の形成を図るために策定した「第2期中心市街地活性化基本計画」に基づいて、大手地区市街地再開発事業の完了をはじめ、オリオンスクエアやバンバ広場などの拠点広場における多彩なイベントの開催のほか、オリオン通りにおけるオープンカフェの実施など、産官学民が一体となって、多くの活性化事業を共に推進してきたところであります。

このような取組により、街なかの居住人口は増加するとともに、休日・夜間を中心として通行量が増加し、空き店舗は大きく減少しているなど、賑わいと活気が出てきている状況にありますことから、今後とも恒常的な賑わい創出や経済活力の向上への機運をさらに高めていくことが重要と考えております。

こうした認識のもと、当協議会と議論を重ねながら策定を進めてきた「第3期中心市街地活性化基本計画」は、人口減少・少子超高齢化のさらなる進行などを踏まえながら、「SDGs」の取組や、「5G」,「Ma a S」などをまちづくりに活用したスマートシティの推進などの時代潮流等を捉えるとともに、LRTの開業やJR宇都宮駅東口地区のまちびらき、さらには、将来的なLRTの駅西側への導入を中心市街地のまちづくりを進める上での絶好の好機と捉え、「都心部グランドデザイン」に掲げた将来像であります「賑わいと高次な都市機能を備えた多様性のあるまち」を実現するための各種活性化事業が計上されており、中心市街地の活性化に向け、産官学民一体となって事業を推進していくための「道標」となるものと受け止めております。

当協議会といたしましても、計画に掲げた将来像の実現に向け、関係者一丸となって、最大限の努力をしてまいり所存であります。

つきましては、下記に示す意見は、当協議会の総意として取りまとめたものであり、実施に当たりましては特段のご配慮をお願い申し上げます。

記

1 事業実施に当たって

(1) 「活性化戦略」に基づく事業の着実な推進

第3期基本計画に盛り込まれている「活性化戦略」は、中枢性や広域性を備えた都市拠点の形成を推進する上での重要な視点や方策等が整理されており、まさに時機を捉えた戦略的な取組の考え方を示したものと評価できることから、以下の点に留意いただきながら、事業を推進されたい。

- ・ L R Tの駅東側の開業と宇都宮駅東口地区のまちびらきの効果を最大限に生かすため、駅東口地区の賑わいを駅周辺に留まらせることなく、中心市街地全体にその効果を波及させることができるよう、駅西側における様々な事業との連携を図りながら、着実に活性化を推進されたい。
- ・ 将来的な駅西側におけるL R Tの導入を見据え、その効果を中心市街地のまちづくりに最大限に生かしていくため、関係機関や地元関係者等との連携を図りながら、J R宇都宮駅西口周辺地区の整備はもとより、歴史・文化の中心である二荒山神社周辺の再開発事業の促進、さらには、L R T沿線の停留場周辺における整備など、L R Tとまちづくりが調和した魅力ある都市空間づくりや公共交通ネットワークの充実に向けた必要な事業については、中長期的な視点からスピード感を持って一体的かつ着実に推進されたい。

(2) ウォーカブルなまちづくりの推進

子どもから高齢者、障がい者など誰もが行ってみたいくなる、歩いてみたいくなる「ウォーカブルなまちなか」の実現のため、賑わいの創出や回遊性の向上に資する事業を着実に推進するとともに、ゆとりある歩行空間の整備により誰もが憩え、くつろげる空間を創出するなど、街なかを「ひと中心」の空間へと転換し、様々な人々の多様な活動や交流を生み出す、活性化の好循環につながるまちづくりを関係機関・民間事業者等と一体となって推進されたい。

2 第3期基本計画の着実な推進に向けて

中心市街地の活性化を効果的・効率的に推進するに当たっては、当協議会や宇都宮まちづくり推進機構はもとより、様々な活動の主体となる中心商店街や地域住民、企業等による主体的な取組を積極的に推進するために、それぞれの取組を有機的に連携させ、総合的かつ一体的に取り組んでいくことが不可欠である。

第3期基本計画に計上されている「タウンマネジメント機能」については、事業主体間の連携強化や助言・支援等のコーディネート、さらには、まちづくりの担い手の発掘・育成を担う重要な仕組みであることから、今後、当協議会との議論を重ねながら、本市の特性や実情を踏まえた実効性の高い体制づくりを進め、関係者が一丸となって事業に取り組めるよう、特段のご配慮を賜りたい。